

地域密着型金融の取組状況（2023 年 4 月～2024 年 3 月）
項目一覧ならびに結果報告

湘南信用金庫

項目	具体的な取組事例	2023 年度中の結果報告
1. 創業・新事業開拓支援	創業応援セミナーの開催	当金庫と鎌倉商工会議所が共催して創業セミナーを開催しました。講師には、数多くの中小企業支援実績のある「神奈川県よろず支援拠点」から各分野の専門家を迎えました。また、特別講師として当金庫取引先の代表者をお招きし、創業時のエピソード等の貴重なお話を聞かせていただきました。
	「事業再構築補助金」申請支援	経済社会の変化に対応するために、新分野への展開や事業転換といった事業継続に向けた新たな取組みに挑戦する事業者を応援しています。2023 年度は「事業再構築補助金」の申請支援を 22 件行い、9 件採択することができました。
	新店舗出店支援	【取組経緯】 代表者は、地域の青年経営者が開催する勉強会に参加しており、当金庫職員も当該勉強会に参加していました。その会を通じて、定期的に情報交換を行うようになり、アイスクリーム店の新規出店の相談を受けることとなりました。 【取組内容】 代表者は飲食店の店長として 10 年以上勤務。前オーナーから営業権を譲受し経営者となりました。古くからの固定客を多く抱え安定した売上計上・利益確保していました。近隣には多数の外国人が居住していたことから、外国人をターゲットとした自家製アイスクリーム店の新規出店を計画し、当金庫に相談しました。アイスクリーム製造設備は、昨今の物価高騰の影響もあり、想定よりも金額が上回ってしまったため、必要最小限の設備で抑えるようアドバイスを実施しました。また、追加設備については、県の「生産性向上事業費補助金」の活用を提案しました。最初に同補助金採択の加点項目となる「事業継続力強化計画」の策定支援を行いました。販路開拓支援については、地域の商工会議所と連携して、同会議所が運営するポータルサイトへの掲載を提案しました。 【取組成果】

地域密着型金融の取組状況（2023 年 4 月～2024 年 3 月）
項目一覧ならびに結果報告

湘南信用金庫

項目	具体的な取組事例	2023 年度中の結果報告
		当金庫が開業資金を応需し、令和 6 年 4 月にアイスクリーム店をオープンさせました。また、同年 5 月に「事業継続力強化計画」の認定を取得できたため、県の「生産性向上事業費補助金」の申請を支援し、申請書を提出しました。 【今後の予定】 補助金の採択結果を確認後、追加設備の導入について代表者と協議します。
2. 成長段階企業支援	販路開拓支援	革製のバッグや小物をオーダーメイドで制作している事業者にふるさと納税返戻品への登録を提案し、手続きをサポートしました。ふるさと納税のWEBサイトに掲載されたことにより認知度が向上し、新規顧客の獲得に繋がりました。
	税務セミナーの開催	当金庫と横須賀商工会議所が共催して税務セミナーを開催しました。講師の税理士からは、損益計算書や貸借対照表の基本事項、各種経営指標の確認方法等を丁寧に説明しました。参加者からは「会計に関しては苦手意識があったが、決算書の理解が深まった」などの意見が寄せられました。
	産学連携での新商品開発支援	【取組経緯】 食料品を製造・販売する事業者から、若者の意見を取り入れた新商品の開発を行いたいとの要望があったため、当金庫から産業能率大学に産学連携での商品開発について相談し、同大学の学生との商品開発を行うこととなりました。 【取組内容】 当金庫が事業者と産業能率大学の間に入り、双方の要望を調整、複数回の 3 者間ミーティングを通じて商品開発のテーマや目標を設定しました。同大学のゼミの一環として、学生を 4 班に分け、班ごとに事業者の要望を踏まえた新商品の提案やマーケティング、価格設定、PR 方法について検討し、資料を作成しました。その後、事業者や当金庫

地域密着型金融の取組状況（2023 年 4 月～2024 年 3 月）
項目一覧ならびに結果報告

湘南信用金庫

項目	具体的な取組事例	2023 年度中の結果報告
		職員の前で学生がプレゼンを行い、実際に商品化する商品案を決定しました。学生たちのユニークなアイデアに対し、実現可能性があるか等を確認する為、事業者とのコミュニケーションの機会を多く取りました。4 班に分けることで学生同士が切磋琢磨し、レベルの高い提案を行うことができました。 【取組成果】 グランプリを取った商品案は、2 日間限定で事業者の店舗で販売しました。若者ならではの発想の商品で話題性もあり、多くのお客さまに手に取っていただくことができました。また、商品案だけでなく、学生たちの発案した P R 手法やキッチンカーでの出店場所の提案等は、事業者にとって目新しく、今後の事業運営の参考にしたいとの声を頂きました。 【今後の予定】 地域のイベント等の際に期間限定での販売を検討しています。
3. 経営改善支援	専担部署による集中支援体制	当金庫では、お取引先の経営改善を支援するための専担部署を設置しています。同部署では、営業店との連携に加え、税理士・公認会計士等の外部専門家や信用保証協会・政府系金融機関等の外部機関とも連携し、支援活動を行っています。 特に支援の必要性が高いお取引や経営改善支援先と定め、業況の把握や資金繰り相談のほか、ビジネスモデルの再構築や財務基盤の改善に対する助言、定期的なモニタリングによる伴走支援に取り組んでいます。
	代位弁済後の信用保証協会に対する求償債務の消滅に係る金融支援	【取組経緯】 支援業者は、造園業および花卉小売業を営んでいましたが、前代表者が病に倒れたことにより事業継続が難しくなり、造園事業を廃業しました。また、保証協会付き融資（他金融機関）の返済が困難となり、代位弁済に至りました。現在は花卉小売業に専念していますが、信用保証協会に対する求償債務があるため、金融機関の新規融資が不可の

地域密着型金融の取組状況（2023 年 4 月～2024 年 3 月）
項目一覧ならびに結果報告

湘南信用金庫

項目	具体的な取組事例	2023 年度中の結果報告
		状況にありました。 【取組内容】 当金庫とは融資取引はありませんでしたが、保証協会から当金庫へ求償権消滅保証を利用した支援の打診があり、保証協会が事務局として開催する経営サポート会議にて経営改善計画を策定しました。計画は保証協会の外部専門家派遣の制度を利用し、策定を支援しました。計画内容の合理性・実現可能性が認められたため、当金庫は求償権消滅保証付融資を実行し、求償債務を消滅させました。 【取組成果】 求償権求償債務の消滅により、金融取引の正常化を図り、同社の再チャレンジを後押しすることができました。また、毎月の返済額が減額されたことにより、資金繰りを安定させることができました。 【今後の予定】 既存設備の更新等、資金需要が発生した際には、資金応需を検討していきます。
4. 事業承継支援	「しょうなん経営塾」を通じた若手経営者の育成	次世代の中小企業経営者育成を目的としている「しょうなん経営塾」の第 17 期は 2023 年 4 月に 27 人でスタートし、受講生全員が修了式を迎えました。この塾の修了生は 2005 年の開始以来のべ 500 人を超え、次世代の地域経済を牽引する人財を輩出しています。
	外部株式の取得および従業員への事業承継支援	【取組経緯】 支援事業者はリース業を営んでいます。代表者は 70 歳を超えているも、後継者が確認できていなかったため、事業承継アンケートを実施しました。アンケート結果を基に代表者と面談すると、株式 7,500 株のうち、4,000 株は代表者が所有するも、残り 3,500 株は外部株主であることから、今後の事業承継も見据え、外部株主の株式を代表者等の名義に集約したいとの意向を確認しました。なお、外部株主は 3 名おり、この大半が名義株式の可能性が高く、法務・税務ともに高い専

地域密着型金融の取組状況（2023 年 4 月～2024 年 3 月）
項目一覧ならびに結果報告

湘南信用金庫

項目	具体的な取組事例	2023 年度中の結果報告
		門性が要求される相談内容でした。 【取組内容①】 業務連携している税理士事務所から会社法に精通した税理士の派遣を依頼し、営業店支店長、本部事業者支援担当者、同席のもと初期相談を実施し、現状把握を行いました。その後、税理士事務所と 6 ヶ月間のコンサルティング契約を締結し、専門家主導で株式集約スキームの立案や外部株主向けの株主総会開催文書や議案の作成を行いました。 【取組内容②】 代表者は、独身で後継者となる子がないため、経理事務を担当している従業員に経営権を引き継ぎたいと考えていましたが、経理以外の実務経験がないため、今後の事業承継を進めていくにあたり、会社内でサポートを行う人材の確保が課題でした。そこで、当金庫の連携先である㈱リクルートを紹介しました。ここ数年採用できていなかった、重機のオペレーターと新たな経理担当者の採用について意見交換を実施し、採用に向けた活動を開始しました。 【取組成果】 株主総会にて、特別決議による株式の譲渡と買取を進め、外部株主 2 名の株式を取得し外部株主の比率を 8.3%まで引き下げました。また、次期後継者候補への株式譲渡を行い、持ち株比率を 40.7%としました。 【今後の予定】 営業店支店長、本部担当者、専門家とともに月 1 回、面談を実施し、円滑な事業承継に向けた提案、情報提供を行っていきます。
5. 地域の面的再生への参画	Yokosuka 海道ウォークへの協力	三浦半島の活性化を目的として 2013 年から開始された Yokosuka 海道ウォークが 2023 年 10 月に開催され、約 1,400 人が参加しました。当金庫の職員はボランティアスタッフとして、スタート時点の受付、歩行道路の誘導員等のイベント運営に協力しました。